

作成日 2003年08月29日

改訂日 2015年11月10日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : No. 59
 会社名 : 日本シェラック工業株式会社
 住所 : 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3丁目7番18号
 担当部門 : 研究室
 電話番号 : 06-6301-0955
 FAX 番号 : 06-6306-1256
 整理番号 : N-114

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
 注意喚起語 : なし
 危険物有害性情報 : なし

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用すること。
 換気を良くして、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。

【救急措置】

吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 目に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚(又は毛髪)に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 衣類にかかった場合: 直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。再使用する場合には洗濯すること。
 暴露又はその懸念がある場合: 医師の診断、手当を受けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

【保管】

容器を密閉し、常温(1~35℃)にて、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名 : 合成ゴム類のエマルジョン混合溶液

成分及び含有量 :

成分 (化学名)	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
水	約 73	対象外	7732-18-5
スチレン・ブタジエン共重合体	25~30	既存	非開示
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル (EO8 モル)	0.7	7-172	9002-93-1 又は 9036-19-5

危険有害成分 :

成分 (化学名)	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
スチレン	<0.03	(3)-4	100-42-5

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 豊富な清浄水で 15 分間以上洗い流した後、直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服等を脱がせ、接触した身体部位を水と石鹼で十分に洗浄する。症状があれば医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、保温して安静にさせる。呼吸困難又は停止の場合は人工呼吸を行い医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出さずに、速やかに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は水で十分に洗う。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物 (固形又は液状) は難燃性ではあるが可燃する。
火元への燃焼源を断つ。
消火は粉末、泡、炭酸ガス等の指定の消火剤を用いて一挙に消火する。
消火作業は火元周囲に人がいないか確認し、適切な保護具 (手袋、眼鏡、マスク) を着用して、できるだけ風上から行き有毒なガスの吸入を避ける。
延焼防止又は容器の冷却のため、周囲の設備などに散水して冷却する。
火災発生場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸保護具を着用し、風上から消火作業を行う。
- 消火器 : 粉末、炭酸ガス、水噴霧、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
漏出防止、除外などの作業は風上から作業し、風下の人を避難させる。
- 保護具及び緊急時措置 : 状況に応じて保護具 (手袋、眼鏡、マスク等) を着用する。
全ての着火源を速やかに取り除き、漏洩を止める。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
少量の場合は自然乾燥させるか、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ容器に回収する。
大量の場合は、漏洩部分の人を退避させ、人の立ち入りを禁止して、土砂など

- で流れを止め、バキューム等で組み上げ容器に回収する。残りは砂で被い乾燥後集めて廃棄する。
- 環境に対する注意事項 : 河川に入ると少量でも白濁し拡大するので公共水域へ流出させない。万一流失させた場合は監督官庁へ連絡し、特に飲料水取水口付近で流出させた場合は至急取水を中止してもらおう等の連絡を行う。
大量の場合は盛り土等で流出を止め、漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。液面を泡で被って空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消化剤の準備をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 全体換気設備又は局所排気設備で作業場の換気を十分行い、保護具（帯電防止服、眼鏡、手袋、マスク）等を使用し、蒸気の吸入や、皮膚に触れたり、目に入ったりすることを避ける。
このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物（固形又は液状）は難燃性の可燃物であるので、乾燥物の取扱いに注意を払う。
- 保管 : 容器を密閉し、直射日光や凍結、高温を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。保管時の温度は4℃以下あるいは35℃以上にならないようにする。4℃以下になると凍結が始まるおそれがあるため、5℃以上で保管すること。
- 容器 : 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度
日本産業衛生学会 : 設定されていない。
ACGIH : 設定されていない。
- 設備対策 : 屋内作業時は発生源の密閉化又は、全体換気設備及び局所排気装置のある場所で取り扱う。
取扱場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確にする。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 不織布のマスク、加熱時など状況により有機ガス用防毒マスク
- 眼の保護具 : 側面遮蔽板付き保護眼鏡、ゴーグル等の保護眼鏡
コンタクトレンズは特別な危害をもたらす。装着しない方が望ましい。
- 手の保護具 : ゴム手袋、不浸透性の防護手袋を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 一般の長袖作業着及び作業帽、安全靴を着用する。

9. 物理及び化学的性質

- 外観 : 乳白色のやや粘稠な懸濁液体（エマルジョン）
- 臭い : 極微臭の特異な臭気
- pH : データなし
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 引火点 : スチレン・ブタジエン共重合体（データなし）、
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル（280℃）
- 発火点 : データなし
- 燃焼又は爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧/蒸気密度 : データなし
- 比重（at 25℃） : 0.988
- 粘度（at 25℃） : >50 mPa·s（B型粘度計）
- 溶解性 : 水と混和する。有機溶剤に不溶。

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 通常の条件下では安定
避けるべき条件	: 凍結、高温、過熱
混触危険物質	: 強酸化剤、禁水性物質
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報: 製品としての情報無し

含有成分の有害性情報

急性毒性 :

経口毒性	(スチレン・ブタジエン共重合体) (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない 区分外	情報無し LD50(ラット雄):11,600mg/kg (EO9)
経皮毒性	(スチレン・ブタジエン共重合体) (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない 区分外	情報無し LD50(モルモット) : >20cc/kg (EO9)
吸入毒性	(スチレン・ブタジエン共重合体) (ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない 分類できない	情報無し データなし

皮膚腐食性・刺激性 :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	区分2	皮膚剥離、紅斑有り(12.5~100%)、ラット(EO9)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	区分2 A	中程度の刺激性 ヲガギ (EO9)

呼吸器感作性・皮膚感作性:

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

生殖細胞変異原性 :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	区分外	in vitro 陰性 (EO9)

発がん性 :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

生殖毒性 :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

特定標的臓器毒性 (単回暴露) :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

特定標的臓器毒性 (反復暴露) :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

吸引力呼吸器有害性:

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) :

(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	区分2	LC50(96hr)=7.2mg/L (ニジマス) (EO10)

水生環境有害性 (慢性) :

	(スチレン・ブタジエン共重合体)	分類できない	情報無し
	(ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル)	分類できない	難分解性 22%byBOD (4week) (EO9)
土壌中の移動度	: 混合物としてのデータがない。		
オゾン層への有害性	: 有害性無し。		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物（廃油）として都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 大量の場合、硫酸バンド、塩化カルシウム水溶液を加え凝固させる。凝固物は産業廃棄物として焼却するか産業廃棄物業者へ埋め立てを委託する。凝固液は水質汚濁防止法に従って排水処理基準に合格することを確認してから処理する。 少量の場合、自然乾燥させるか乾燥砂、土、ボロ布等に吸収させる。焼却する場合、アフターバーナー及びスクラバー（アルカリ洗浄液）等の廃棄設備を備えた焼却設備にて焼却する。 乾燥して固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。
汚染容器及び包装	: 内容物を自然乾燥させるなど完全に処理した後で、廃棄物処理業者に委託処分する。 容器内に付着したポリマーを硝酸などの強酸と接触させない。

14. 輸送上の注意

国連分類及び番号	: 国連分類には該当しない。
容器等級	: 非該当
海洋汚染	: 非該当
安全対策	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 転倒、落下、損傷のないように積みこみ、荷崩れの防止を確実に行う。 容器が破損しない様に、乱暴な取扱いをしない。 直射日光下や高温な場所、凍結するような場所に放置しない。

15. 適用法令

消防法	
危険物	: 該当しない。
指定可燃物	: 該当しない。
労働安全衛生法施行令	
施行令第18条	: 該当しない
施行令第18条の2	: 該当しない
化審法（特定化学物質、監視化学物質）	: 製品は該当しない。 但し、スチレンは特別管理物質（<0.03%含有、規制の閾値：1%）、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルは旧第三種監視化学物質
化管法（PRTR法）	: 製品は該当しない。 但し、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルは第一種指定化学物質（0.7%含有、規制の閾値：1%）。

16. その他の情報

引用及び参考文献

- ① スチレン・ブタジエン共重合体のMSDS（作成日：2015/08/21）
- ② ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルのMSDS（改訂日：2014/02/03）
- ③ 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 改訂第2版（化学工業日報社）2007/3/27発行
- ④ 日本規格協会 「JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法一」

⑤ 日本規格協会 「JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の分類方法」

記載内容は現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関して、如何なる保証をなすものではありません。また記載事項は通常取り扱いを対象としておりますので、特別な取り扱いをする場合はそれに適した安全策を実施の上、取り扱って下さい。